

下校の時間

長谷川彩

野中

柳瀬

登場人物

静かな雨音。

下校の音楽が流れている。

ピアノの音がかすかに聞こえる。

下校の音楽が途切れ、チャイムが鳴る。

子供の声で放送が流れる。

「下校の時間になりました。用のない生徒は、すみやかに下校しましょう。くり返します。下校の時間になりました。用のない生徒は、すみやかに下校しましょう」

中学校の玄関口。

開け放たれている観音開きのガラス戸。

戸の奥に背の高い靴箱が並んでいる。

ガラス戸の脇のコンクリートの壁にもたれるふたりの生徒。

足元に口の開いた鞆を置き、教科書を開いている男子生徒（柳瀬）。

足首に包帯ネットが巻かれた、何か思い出そうとしている様子の女子生徒

（野中）。

ふたりの間は、人ひとり分空いている。

柳瀬 まいて。

野中 まいてー……。

柳瀬 雁などの。

野中 雁などのー……。

柳瀬 連ねたるが。

野中 （柳瀬の言葉を遮って）連ねたるが、……。

柳瀬 いと。

野中 言うな。

柳瀬 はあ？

野中 邪魔すんな。

柳瀬 ヒントじゃん。

野中 いらんし。

柳瀬 わからんだろだって。

野中 思い出しとるんだって。

柳瀬 出てこんじゃん。

野中 思い出しとるんだってだから。

柳瀬 先進まんし。  
野中 え、何。  
柳瀬 は？  
野中 次何。  
柳瀬 聞くなや。  
野中 言えて。  
柳瀬 言つとること違うし。  
野中 違う、わからなくなつたんだってお前がなんか言うから。  
柳瀬 そっちが先だろ。  
野中 はあ？  
柳瀬 いと。  
野中 はあ？  
柳瀬 いと。  
野中 どの。  
柳瀬 雁などの連ねたるが。  
野中 え、連ねたるが、いと？  
柳瀬 小さく。  
野中 あ、いと小さく、見ゆるは、……。  
柳瀬 をかし。  
野中 をかし。いとをかし。……。  
柳瀬 日。  
野中 ……日…。  
柳瀬 入り果てて。  
野中 (遮って) 入り果ててー……。  
柳瀬 風の音。  
野中 虫の音など、……。  
柳瀬 はた。  
野中 (早口で) はた言うべきにあらず。  
柳瀬 はいアウトー。  
野中 はあ？  
柳瀬 野中さんアウトっすわ。  
野中 (柳瀬に手を伸ばし) なわけないスわ。  
柳瀬 (気づかず) 完全アウトっすわ。  
野中 (手招きし) なわけないスわ。  
柳瀬 (気づき、教科書を差し出し) 今のアウトじゃなかったら全員クリアだし。

野中 (受け取り) なわけないし。

柳瀬 お前次クリアしんと成績響くぞ。

野中 (教科書を開き) 余裕。

柳瀬 ないわ。

野中 ふざける。

柳瀬 マジで。

野中 はいはい。冬は？

柳瀬 は？

野中 冬は？

柳瀬 俺もうクリアしとるんだけど。

野中 はいはいはいはい。冬は？

柳瀬 冬はつとめて。雪の降りたるは言うべきにもあらず。霜のいと白きも、また

さらでも、えー。

野中 いと。

柳瀬 え、霜のいと白きも、またさらでも。

野中 いと。

柳瀬 言った。

野中 もつかい。

柳瀬 は？

野中 寒き。

柳瀬 あ、いと寒きに、火など急ぎおこして、炭持て渡るも。

野中 きた、スミモテ、スミモテ。

柳瀬 (思わず笑い) ちよつと、黙れ。

野中 (笑う)

柳瀬 え、何、いと寒きに、火など急ぎおこして、炭持て渡るも、いとつきづきし。

……。

柳瀬、口は開いているものの、次が出てこない。

野中、ヒントを出そうと、柳瀬をうかがいながらゆっくり口を開く。

柳瀬 (思い出し) 昼になりて。

野中 おー。

柳瀬 昼になりて、ぬるくゆるびもていけば。

野中 ハイ、モテイケバ。

柳瀬 モテイケバ、えー、火桶の火も、白き灰になりがちになりて、ん？

野中 ん？  
柳瀬 白き灰になりがちになりて。  
野中 なり二回言った。  
柳瀬 え、白き、灰に、なりがちに、なり。  
野中 違う。  
柳瀬 どこ。  
野中 最初なりいらん。  
柳瀬 え、あ、白き、灰がちになりて、わろし。  
野中 ワロシ。  
柳瀬 ワロシ。  
野中 アウトだな。  
柳瀬 はあ？  
野中 柳瀬君、アウトっスわ。  
柳瀬 ウソだ、セーフだろ。  
野中 めっちゃ囁んどったし。  
柳瀬 ギリセーフだろ。  
野中 めっちゃヒント出したし。  
柳瀬 誰のこと言ってんスカ。  
野中 アウトだわ。  
柳瀬 セーフだわ。  
野中 ないわ。  
柳瀬 てか俺終わっとるわ。  
野中 はあ？  
柳瀬 クラスで最初にクリアしとるんだわ。  
野中 ないわ。  
柳瀬 てか野中さん記憶力なさすぎじゃないスカ。  
野中 うーわお前。  
柳瀬 (笑って) マジで。  
野中 うーわワロシ。  
柳瀬 (笑って) はあ？  
野中 (笑って) 柳瀬ワロシ。  
柳瀬 (笑って) ワロシ言うな。  
野中 (笑って) 柳瀬マジワロシ。  
柳瀬 (笑って) 富センか。  
野中 (笑って) 誰が富センだ。

柳瀬 なんかに言っとったじゃん富セン。

野中 ヲカシな。

柳瀬 あー。

野中（声を変え）この表現は、えー、非常に、いー、ヲカシですね。イトヲカシ  
ですね。

柳瀬 うーわ似てな。

野中（教科書を丸め）ウソだ似とるし。

柳瀬 ないわ。

野中 ウソだわ。

柳瀬 ワロシだわ。

野中（笑って）真似すんな。

柳瀬（笑って）しとらんわ。

野中（笑って）しとるがや。

柳瀬（気づき）おい、曲げんな。

野中（気づき、教科書を戻し）おお。

柳瀬 人の。

野中 てかもういらんのじゃない？

柳瀬 いらん。

野中（教科書を丸める）

柳瀬 おい。

野中 いらんのじゃん。

柳瀬 曲げんの違うじゃん。

野中 持ってくの。

柳瀬 捨てる。

野中（教科書を丸める）

柳瀬 おーいー。

野中（笑う）

柳瀬 てか期末まで使うし。

野中 もういらんだろ。

柳瀬 てか覚えろて。

野中 あげぼのとか知らんスわ。

柳瀬 落とすぞ古典。

野中 あ、お前今落ちるとかマジ禁句。

柳瀬 だから覚えろて。

野中 てかコレ覚えてどうすんの。

柳瀬 それ。  
野中 言えたから何なの。  
柳瀬 マジそれ。  
野中 マジワロシだわ。  
柳瀬 (笑って) うるせーわ富セン。  
野中 (笑って) もういいて富セン。  
柳瀬 (笑って) そっち言い出したんじゃん。  
野中 (空を見上げ) てかやまんのコレ。  
柳瀬 (空を見上げ) 強なつとらん？  
野中 降るとか聞いとらんのだけど。  
柳瀬 それ。  
野中 ぬれるとかマジありえんし。  
柳瀬 マジそれ。  
野中 受験生ぞ。  
柳瀬 はよ帰りやよかったし。  
野中 なんで残ったの。  
柳瀬 いや。  
野中 何。  
柳瀬 別に。なんか。  
野中 ふうん。  
柳瀬 残れ言われたから。  
野中 え、富セン？  
柳瀬 いや。  
野中 お、いじめスカ。  
柳瀬 違うわ。  
野中 校舎裏スカ。  
柳瀬 違うわ。(笑って) てか古。  
野中 (笑う)  
柳瀬 校舎裏とか。  
野中 ないわ。  
柳瀬 だろ。  
野中 だわ。  
柳瀬 え、何、お前は。  
野中 何が。  
柳瀬 え、校舎裏スカ。

野中 (笑って) なわけないし。  
柳瀬 (笑う)  
野中 普通に職員室だし。  
柳瀬 うーわ普通。  
野中 なんで富センが校舎裏だし。  
柳瀬 え、何。  
野中 何。  
柳瀬 (野中の足首を見て) え、痛いの。  
野中 別に。  
柳瀬 ふうん。  
野中 なんか、適当に聞かれたただけだし。  
柳瀬 へえ。  
野中 知らんけど。  
柳瀬 藤田は？  
野中 何。  
柳瀬 え、一緒に呼び出し食らったじゃんね。  
野中 それが何。  
柳瀬 いや。  
野中 おお。  
柳瀬 え、何、お前歩けんの？  
野中 歩けるし普通に。  
柳瀬 親迎え来んの？  
野中 無理。仕事。  
柳瀬 ふうん。  
野中 (空を見上げ) てかやまんぞコレ。  
柳瀬 (ガラス戸の奥を見て) 傘パクったろかな。  
野中 (ガラス戸の奥を見て) いいんじゃないね？  
柳瀬 今風邪ひくとかマジありえん。  
野中 え、入試？  
柳瀬 期末だわ。  
野中 よくね？ 期末。  
柳瀬 よくねーわ期末。  
野中 ですよねー。  
柳瀬 次ので推薦決まるし。

野中 え、いつ本番。  
柳瀬 二月とか。  
野中 まだいいじゃん。  
柳瀬 そっちもだろ。  
野中 三月とか。  
柳瀬 全然いいじゃん。  
野中 推薦？  
柳瀬 予定。  
野中 いいじゃん。  
柳瀬 推薦？  
野中 一般。  
柳瀬 ワロシ。  
野中 (思わず笑い) お前。  
柳瀬 (笑う)  
野中 (笑って) 落ちろ。  
柳瀬 (笑って) ごめん余裕。  
野中 うーわうざ。  
柳瀬 余裕スわ。  
野中 え、地元じゃんね受けるの。  
柳瀬 地元。家建ったらそっから通う。  
野中 近いの。  
柳瀬 一駅。  
野中 ケッタ余裕じゃん。  
柳瀬 余裕スわ。  
野中 頭いいところ？  
柳瀬 そこそこ。  
野中 ふうん。  
柳瀬 県一。  
野中 マジか。  
柳瀬 ウソ。知らん。  
野中 (笑って) ウソかて。  
柳瀬 てかよく知らん。  
野中 自分で自分行くところ知らんのだて。  
柳瀬 近かったから決めただけだし。  
野中 うーわ腹立つ。

柳瀬 余裕スわ。  
野中 こっちだとどこレベル。  
柳瀬 えー、どこだ。  
野中 東校とか。  
柳瀬 あー、までいかん。ちよい下。  
野中 マジか。めっちゃいいじゃん。  
柳瀬 余裕スわ。  
野中 落ちろし。  
柳瀬 (笑って) お前マジ禁句。  
野中 (笑って) 柳瀬マジワロシだわ。  
柳瀬 てかお前推薦とれんの？  
野中 (思わず笑い) いや、お前。  
柳瀬 (気づき、笑って) いや、違う。  
野中 (笑って) マジお前ケンカ売つとるんかて。  
柳瀬 違う。ピアノで。  
野中 はあ？ なんで。  
柳瀬 弾くじゃんだって。  
野中 だから？  
柳瀬 一芸的な。  
野中 ないわ。  
柳瀬 お前だって弾けるんじゃないね。  
野中 アレめっちゃやできる人用だから。  
柳瀬 野中違うの。  
野中 アレめっちゃやできる人用だから。  
柳瀬 お前めっちゃやできるの？  
野中 めっちゃやできることないわ。  
柳瀬 (思わず笑う)  
野中 (つられて笑い) そこそこできるわ。  
柳瀬 (笑って) 違う。間違えた。  
野中 (笑って) なめんな。  
柳瀬 いや、お前めっちゃ弾けるんじゃないのってこと。  
野中 知らん。普通。  
柳瀬 ふうん。  
野中 てか、アレ音大とか行く人用だから。  
柳瀬 行かんの？

野中 無理。  
柳瀬 へえ。  
野中 やめるし。  
柳瀬 ふうん。  
野中 普通に。  
柳瀬 え、なんで。  
野中 何。  
柳瀬 いや。  
野中 え、てか普通に行けんから音大とか。  
柳瀬 あっそう。  
野中 めっちゃ金かかるし。  
柳瀬 知らんけど。  
野中 あ、お前興味なくない？  
柳瀬 ないわごめん。  
野中 (笑って)マジお前推薦で落ちろ。  
柳瀬 (笑って)ないわごめん。  
野中 てか推薦で落ちるの？  
柳瀬 落ちんのじゃない？  
野中 え、てか県外のとかくれるの？  
柳瀬 知らん。くれるっぽい。  
野中 え、てか柳瀬さ、推薦東校じゃなかったっけ。  
柳瀬 いや。  
野中 違かったっけ。  
柳瀬 やめた。  
野中 うーわもったいな。  
柳瀬 いや、だって戻るし。  
野中 じゃあもらおうとすんなや。  
柳瀬 違う、戻るの決まったの遅かったんだわ。  
野中 へえ。  
柳瀬 ホント、こないだし。  
野中 え、なんで？  
柳瀬 は？  
野中 転勤？  
柳瀬 いや。  
野中 なんて戻るの。

柳瀬 なんであって何が。  
野中 あと一学期じゃんね。  
柳瀬 いや、てか住めるようになったら戻るって話だったし、元々。  
野中 ふうん。  
柳瀬 普通に。したら、なんか全然戻れんかったから、こっちおったけど。  
野中 へえ。  
柳瀬 だから、なんでとかないけど。  
野中 え、いいの。  
柳瀬 何が。  
野中 戻って。  
柳瀬 いいよ。なんで。  
野中 真野ちゃんまだ戻れて言っとったから。  
柳瀬 離れとるもんだって、真野と俺の地元全然。  
野中 ふうん。  
柳瀬 あっちのが全然、アレだったし。  
野中 へえ。  
柳瀬 あ、お前興味なくない？  
野中 ないわごめん。  
柳瀬 (笑って) 落ちろ。  
野中 (笑って) お前こっちはシヤレにならんからな。  
柳瀬 (教科書を示し) だから覚えろて。  
野中 もういい古典落ちた。  
柳瀬 いや、シヤレにならんからマジで。  
野中 てか過去とか興味ないし。  
柳瀬 うわカッコイイ。  
野中 (思わず笑う)  
柳瀬 (笑って) 野中さん未来だけスか。  
野中 (笑って) 違うわ。  
柳瀬 (笑って) 未来だけで生きてけるんスか。  
野中 (笑って) うーわうざ。  
柳瀬 てかお前それ歴史系全滅じゃん。  
野中 歴史とかふり返っとる暇ないスわ。  
柳瀬 (笑って) カッコイイ。  
野中 (笑って) マジうざいわ柳瀬。

ふたり、突然弾かれたようにガラス戸の方を見る。

野中・柳瀬 あ、はい……いや、雨。雨。……持っていないス……。

野中 は？（教科書を見て）あ、はい。

柳瀬 （小声で）えー？

野中 （小声で）黙れ。

柳瀬 （小声で）覚えてましたっけー。

野中 （小声で）黙れ柳瀬。

柳瀬 （小声で笑う）

野中・柳瀬 は？ いやいやいやいや。……だから雨。雨。……（会釈し）はい  
さよーならー……。……。

ふたり、見送る。

野中 （小声で）ハーゲ。

柳瀬 （思わず笑う）

野中 （つられて笑う）

柳瀬 やめろて。

野中 聞こえんて。

柳瀬 怖いわ。

野中 （声を変え）お前ら仲良しだなー。

野中・柳瀬 いやいやいやいやいやいや。

野中 はあ？ だし。

柳瀬 ふざけんなし。

野中 こっちなし。

柳瀬 てか似てな。

野中 ウソだ、似とるし。

柳瀬 ワロシだわ。

野中 ヲカシだし。

柳瀬 てか帰ったぞ。

野中 帰ったな。

柳瀬 （ガラス戸の奥を見て）おるじゃんね。

野中 何が。

柳瀬 藤田。

野中 何。

柳瀬 え、弾いとるの藤田だろ。  
野中 じゃないの。  
柳瀬 ふうん。  
野中 いいんじゃん別に。  
柳瀬 うん。  
野中 え、てかなんで富セン傘持っとるの。  
柳瀬 置き傘じゃね？  
野中 うわズル。  
柳瀬 ズルと違うだろ。  
野中 まあいかん。古典いらん。  
柳瀬 (笑って) 今古典関係ない。  
野中 古典と書道はマジでいらん。  
柳瀬 マジ書道。あと音楽。  
野中 いるし音楽。  
柳瀬 どころが。  
野中 気分的に。  
柳瀬 全然上がらん。  
野中 てかお前今日歌っとらんかったことない？  
柳瀬 てかずっと歌っとらんから。  
野中 歌えや。  
柳瀬 いやお前、自分出ん卒業式の練習とか意味わからんから。  
野中 出んのだから今頑張れや。  
柳瀬 ないわ。  
野中 ありえんコイツ。  
柳瀬 てかお前も歌っとらんだろ。  
野中 は？ 私ピアノじゃん。  
柳瀬 弾いとるの藤田じゃん。  
野中 いや、ペダルだし。  
柳瀬 いや、ペダルだし。  
野中 うーわお前。  
柳瀬 ペダルだけじゃんだって。  
野中 ないわ。  
柳瀬 てか何あのペダル。なんで踏むの。  
野中 音伸びるじゃん。  
柳瀬 は？

野中 音伸ばしたりするんじゃない。  
柳瀬 え、いる？  
野中 (思わず笑って) おい。  
柳瀬 (笑って) いや。  
野中 (笑って) お前人の存在価値。  
柳瀬 ごめん違いがわからん。  
野中 柳瀬君センスなさすぎじゃないスか。  
柳瀬 てかペダル踏んでる時お前めっちゃ怖いんだけど。  
野中 は？  
柳瀬 (無表情で踏む仕草をしながら) こうだから。  
野中 (思わず笑う)  
柳瀬 (笑って) めっちゃ怖いから。  
野中 (笑って) 知らんし。  
柳瀬 やめて怖いから。  
野中 知らんわ。  
柳瀬 え、仲悪いの。  
野中 何が。  
柳瀬 藤田。  
野中 別に。  
柳瀬 ふうん。  
野中 そんなしゃべらんし。  
柳瀬 え、さっきめっちゃキレとったことない？  
野中 な。  
柳瀬 藤田。  
野中 な。  
柳瀬 マジビビったんだけど。  
野中 いや、こっちのがビビったし。  
柳瀬 藤田力めっちゃ強くない？  
野中 強い。めっちゃ強い。  
柳瀬 お前吹っ飛んだじゃんね。  
野中 (笑って) おい、マジか。  
柳瀬 (つられて笑い) いや、なんか結構吹っ飛ばされとったことない？  
野中 いや、なんか、あんま覚えとらん。  
柳瀬 強いわ藤田。  
野中 な。

柳瀬 車椅子とか腕めっちゃ使うんだって。  
野中 あー。  
柳瀬 だからじゃん。  
野中 マジか。やるな。  
柳瀬 な。  
野中 へえ。  
柳瀬 え、何したの。  
野中 何が。  
柳瀬 藤田に。  
野中 別に。  
柳瀬 あっそう。  
野中 (足首を回し) てかやったのあっちだし。  
柳瀬 だな。  
野中 だろ。  
柳瀬 だわ。  
野中 おお。  
柳瀬 いや、めっちゃキレとったから藤田。  
野中 な。  
柳瀬 なんか。  
野中 な。  
柳瀬 ふうん。  
野中 え、別によくない？  
柳瀬 いや、いいけど。  
野中 じゃあ聞くなや。  
柳瀬 はあ？  
野中 いいなら聞くなて。  
柳瀬 ハイ、じゃあ聞かないです。  
野中 そうしてください。  
柳瀬 ハイ。  
野中 え、てか何、帰らんでいいの。  
柳瀬 いかん。家片付けんといかんもん。  
野中 ああ。  
柳瀬 引っ越し来週だし。  
野中 え、来週なの？  
柳瀬 荷物は。

野中 期末やらの？

柳瀬 いや。

野中 うーわズル。

柳瀬 (笑って) いや、やるわ期末。

野中 (笑って) 逃げんなやズル。

柳瀬 (笑って) 逃げんわ。荷物だけだわ。

野中 何それ。

柳瀬 母さんとばあちゃんだけ先行くんだわ。俺と父さんだけ残る。

野中 なんで。

柳瀬 ばあちゃん入院するし。

野中 マジか。

柳瀬 マジ。

野中 へえ。

柳瀬 だから荷造りしんといかん。

野中 (ガラス戸の奥を見て) パクってく？

柳瀬 (ガラス戸の奥を見て) パクってく？

野中 いいんじゃない別に。

柳瀬 野中さんおらんかったらやるんすけどね。

野中 (笑って) 黙っといたるて。

柳瀬 (笑って) 絶対言うわコイツ。

野中 いや、マジで言わんけど。

柳瀬 マジスカ。

野中 言っただうすんの。

柳瀬 いや、知らんけど。

柳瀬、ガラス戸の奥へ去る。

野中、ガラス戸の奥を見る。

野中 ある？

柳瀬の声 あるはある。

野中 あったらも一本。

柳瀬の声 いや、使えるのあるかは微妙。

野中 マジか。

野中、ガラス戸の奥を見ていたが、ふと足元の柳瀬の靴が目に入る。

何の気なしに上からのぞく。

何かを見つけ、ニヤニヤと笑いうなずきながら、柳瀬の去った方を見る。  
間。

柳瀬、戻ってくる。

野中、何でもないように顔を戻す。

柳瀬 いかん。なんか怖くて開けん。

野中 マジか。

柳瀬 迎え来んかな。

野中 来るの？

柳瀬 いや、来んけど。親戚に車借りんといかんし。

野中 ふうん。

柳瀬 困りましたな。

野中 ましたな。

柳瀬 な。

野中 てか、アレっすな。

柳瀬 ハイ。

野中 いいスな。

柳瀬 何が。

野中 青春スな。

柳瀬 は？

野中 (柳瀬の鞆を見て) な。

柳瀬 (合点がいき) はあ？

野中 誰スか。

柳瀬 (鞆の口を狭め) 見んな人の。

野中 いやー、柳瀬君モテモテっすな。

柳瀬 違うわ。

野中 モテシ。

柳瀬 (思わず笑い) 何だお前。

野中 (笑う)

柳瀬 (笑って) マジで。

野中 (笑って) モテシですわ。

柳瀬 (笑って) 違うわ。

野中 (笑って) いやー。

柳瀬 違うわ。真野だわ。

野中 は？  
柳瀬 真野。  
野中 あ、真野ちゃん。  
柳瀬 おお。  
野中 なんだ。  
柳瀬 だから。  
野中 おお。  
柳瀬 違うし。  
野中 え、何、真野ちゃん。  
柳瀬 何が。  
野中 え、読んだ？  
柳瀬 さっきだし。  
野中 ああ。  
柳瀬 なんか、戻るって聞いたからって言って。  
野中 へえ。  
柳瀬 それでなんか、頑張ってくださいって。  
野中 ふうん。  
柳瀬 何頑張んのか知らんけど。  
野中 え、付き合つとるんじゃないね。  
柳瀬 は？  
野中 え。柳瀬。  
柳瀬 (遮って) 誰と。  
野中 え、真野ちゃん。  
柳瀬 は？ 誰と。  
野中 は？  
柳瀬 付き合つとらんものだけど。  
野中 あ、へえ。  
柳瀬 誰が言ったの。  
野中 誰ってか。  
柳瀬 誰。  
野中 え、なんかそんな言われとったことない？  
柳瀬 俺違うって言ってんだけど何回も。  
野中 いや、知らんけど。  
柳瀬 なんでそんなことなるのかわからん。  
野中 それはさ、アレじゃん、近いし。

柳瀬 だから俺と真野地元全然違うって言ってんじゃん。  
野中 いや、私に言われても知らんて。  
柳瀬 え、じゃあ何、避難してきたもん同士付き合わないかんシステムなわけ？  
野中 （思わず笑い）んなシステムないだろ。  
柳瀬 （思わず笑い）わかっとなるわ。  
野中 おお。  
柳瀬 だから、そういうんじゃないじゃんって言ってんの。  
野中 だな。  
柳瀬 だろ。  
野中 だわ。  
柳瀬 てか、俺あんま真野得意じゃないし。  
野中 ああ。  
柳瀬 なんか。  
野中 へえ。  
柳瀬 俺全然違うし、真野んこと。  
野中 うん。  
柳瀬 だからなんか、困るし。  
野中 ああ。  
柳瀬 てか、俺ホントは別に戻らんでもよかったし。  
野中 あ、そうなの。  
柳瀬 だってもう、ずっとこっちおるんだろうなってちょっと思ってたし。  
野中 ああ。  
柳瀬 高校もこっちで決めとったし。  
野中 おお。  
柳瀬 でも、なんかもう戻らんといかんくなったから。  
野中 うん。  
柳瀬 だから、戻るけど別に。  
野中 え、なんで？  
柳瀬 は？  
野中 え、転勤とかじゃないんじゃないね。  
柳瀬 違うけど。  
野中 なんで戻るの。  
柳瀬 いや、だって戻れるし。  
野中 いや、だって高校こっちで決めとったんじゃないね。  
柳瀬 いや、でも戻れるし。

野中 いや、それは関係なくない？  
柳瀬 は？

野中 いや、戻れるとかはだって、戻るかどうかは別じゃんね。

柳瀬 いや、戻れたら戻るだろ、普通。

野中 いや、知らんけどさ。

柳瀬 いや、普通戻るから。

野中 いや、普通は知らんけど。

柳瀬 いや、普通はそうだから。

野中 え、何急にイラついとるの。

柳瀬 は？ 別にイラついとらんけど。

野中 イラついとるじゃん。

柳瀬 どこが。

野中 (思わず笑い) いや、どこてお前。

柳瀬 (つられて笑い) いや、うん、いいけどそれでも別に。

野中 はあ？

柳瀬 いや、もう、だから決まっとるんだって。戻れるんだから戻るんだって。そう決まっとるんだからいいじゃんかもう。

野中 え、何、よくわからんのだけど。

柳瀬 は？

野中 柳瀬東校行きたかったんじゃないの。

柳瀬 ……わからんて、お前には。

野中 いや、わからんけどさ。

柳瀬 じゃあ言うな。

野中 はあ？

柳瀬 わからんなら言うな。

野中 ハイ、じゃあ言わないです。

柳瀬 そうしてください。

柳瀬、鞆を持ってガラス戸の奥に去る。

にわかには耳につく雨音。

ピアノの音が聞こえる。

野中、空を見上げ、うつむき、足首を回す。

手持無沙汰に教科書を開き、眺める。

間。

野中、教科書を閉じ、遠くを眺める。

間。

ピアノの音に合わせ、何かを踏む仕草。  
不意にやめる。

間。

教科書を丸める。

教科書のきしむ音。

間。

傘が倒れる音。

野中、チラッとガラス戸の奥を見て、すぐ元に戻る。  
間。

柳瀬、戻ってくる。

柳瀬 アレ、傘。

野中 ハイ。

柳瀬 使えるのあるっぽい。

野中 ハイ。

柳瀬 から、パクったろと思ったんすけど。

野中 ハイ。

柳瀬 野中言うだろ、富センに。

野中 ……ハイ。

柳瀬 と思って。

野中 当たり前だし。

柳瀬 やめたわ。

野中 人のパクるとか最低っすよ。

柳瀬 お前言っとること違うし。

野中 マジワロシっすよ。

柳瀬 (笑って) うるせーわ富セン。

野中 (笑って) 誰が富センだ。

柳瀬、さっきと同じ場所に戻る。

柳瀬 てかお前丸めとっただろ。

野中 (教科書を差し出し) いやいや。

柳瀬 (受け取り) 見たし。

野中 いやいやいやいや。

柳瀬 (鞆にしまい) 落とす気満々じゃん。  
野中 なわけないスわ。  
柳瀬 ウソつけ。  
野中 覚えとったんスわ。  
柳瀬 絶対ウソだし。  
野中 てかうるさいんだて。  
柳瀬 は？ 何が。  
野中 ピアノだわ。  
柳瀬 ああ。え、気になる？  
野中 なるわ。  
柳瀬 雨のがうるさくね？  
野中 いや、ズレとるんだわ、なんか。  
柳瀬 ウソ。  
野中 ホントだわ。  
柳瀬 わかるの。  
野中 わかるわ。てかわかれ。  
柳瀬 ごめんわからん。  
野中 うーわ柳瀬君センスなさすぎスわ。  
柳瀬 何、アイツ下手なの？  
野中 別に。普通。  
柳瀬 ピアノやったらんの藤田。  
野中 やつとる。  
柳瀬 じゃあ弾けるんじゃないの。  
野中 だから普通だって言っとるじゃん。  
柳瀬 おお。  
野中 音大行くとか言っとったし。  
柳瀬 え、そんな弾けるの？  
野中 知らん。  
柳瀬 へえ。  
野中 てか無理だし。  
柳瀬 え、無理なの。  
野中 無理だろ。  
柳瀬 なんで。  
野中 だからペダル。  
柳瀬 ああ。

野中 てか音大とかめっちゃ金かかるから。  
柳瀬 ふうん。  
野中 無理だろ普通に。  
柳瀬 え、ペダルって踏めんといかんの？  
野中 いかんわ。  
柳瀬 だってお前でもできるじゃん。  
野中 (思わず笑い) おい。  
柳瀬 (つられて笑い) いやだって。  
野中 経験者なめんな。  
柳瀬 何、踏むだけじゃないの？  
野中 じゃあ柳瀬やれば？  
柳瀬 え、無理。  
野中 ほらな。  
柳瀬 ピアノとか無理わからん。  
野中 ほらな。  
柳瀬 マジだごめん。  
野中 藤田さんめっちゃ言ってくるから。  
柳瀬 マジか。  
野中 遅いとか早いとかめっちゃ言ってくるから。  
柳瀬 マジかごめん。  
野中 めっちゃイラつくから。  
柳瀬 うーわ無理ごめん。  
野中 マジあんま言うから言ったったもんさつき。  
柳瀬 何。  
野中 じゃあ自分で踏めば？ って。  
柳瀬 ……ほお。  
野中 したら、(突き飛ばす仕草) ドーンで。  
柳瀬 やられたんスカ。  
野中 やられたんスわ。  
柳瀬 あっそう。  
野中 ハイ。  
柳瀬 ……へえ。  
野中 ハイ。  
柳瀬 え、怒られた？ 富セン。  
野中 全然。

柳瀬 あ、へえ。  
野中 だって言わなかったもん藤田さん。  
柳瀬 ……。  
野中 なんか、富センが何聞いてもずーっと黙っとるから、私も黙っとったけど。  
柳瀬 ふうん。  
野中 富センめっちゃ困っとった。  
柳瀬 (思わず笑う)  
野中 (声を変え) お前ら仲良しだなー(声を戻し) 言われたし。  
柳瀬 (笑って) 仲良し。  
野中 (笑って) なわけねーだろ。  
柳瀬 ないな。  
野中 こっちやケガさせられとるんだぞ。  
柳瀬 だな。  
野中 いいわけねーだろ。  
柳瀬 だわ。  
野中 てか言えて藤田。  
柳瀬 ……。  
野中 何黙っとるんだてマジで。  
柳瀬 ……。  
野中 言えばいいがや。  
柳瀬 ……。  
野中 言えて。  
柳瀬 ……え、何、どうするの。  
野中 何が。  
柳瀬 ペダル。  
野中 何が。  
柳瀬 だってお前弾く方がいんだろ。  
野中 別に。  
柳瀬 ウソつけて。  
野中 え、てか私関係なくない？  
柳瀬 何が。  
野中 私どうでもいいじゃん。  
柳瀬 なんで。  
野中 藤田さんが弾きたいって言っとるんじゃん。  
柳瀬 ……。

野中 決まっとるじゃん。  
柳瀬 それは違わん？  
野中 は？  
柳瀬 弾けるかどうかは知らんけどさ、弾きたいかどうかは自分で決めれるじゃん。  
野中 ……わからんて、お前には。  
柳瀬 わからんけど。  
野中 じゃあ言うな。  
柳瀬 ハイもう言いませーん。  
野中 (思わず笑い) もう落ちろ。  
柳瀬 (笑って) お前今日どんだけ禁言言っとるんだて。  
野中 (笑って) 傘パくれ。  
柳瀬 コイツ絶対言うし。  
野中 推薦落ちろ。  
柳瀬 絶対もらったるし。  
野中 てかはよ帰れてお前。  
柳瀬 帰りにーいわれんでも。  
野中 ばあちゃん大事にしたれて。  
柳瀬 うーわいい子。  
野中 (笑う)  
柳瀬 俺。  
野中 お前か。  
柳瀬 俺だろ。  
野中 知らんし。  
柳瀬 てか言われんでも大事にしとるわ。  
野中 うーわいい子。  
柳瀬 俺地元戻るのはあちゃんのためだし。  
野中 めっちゃいい子じゃん。  
柳瀬 前から地元戻りたいってずっと言っとったから。  
野中 へえ。  
柳瀬 俺卒業だし、ちょうど、ちょうどか言い方アレだけど、ばあちゃん悪くな  
って来たから。  
野中 おお。  
柳瀬 一応聞かれたけど、俺東校決めとったから、どうする？ って。俺決めてい  
いよとか言われたけど。  
野中 おお。

柳瀬 まあ、もうそれ選択肢なくね？ とかちよっと思っただけど。

野中 な。

柳瀬 な。いや迷っただけど実際。東校行くつもりでやっと思ったし。てかずっところちおるもんだって思っと思ったし。

野中 うん。

柳瀬 なんか、もう結構おったし。普通にいすぎて方言とかうつつとるし。

野中 だな。

柳瀬 だろ。

野中 だわ。

柳瀬 ハイ。いや、戻りたくないわけじゃないんすけど別に。

野中 ハイハイ。

柳瀬 なんか、だっつてずっとおったから。

野中 ハイ。

柳瀬 うん。で、なんかこないだ、俺ばあちゃん呼ばれて。

野中 校舎裏？

柳瀬 (思わず笑い) なわけあるか。

野中 (笑って) ウソだわ。

柳瀬 え、スンマセン、聞かんらしいんすけど全然。

野中 ごめんし、聞くし。

柳瀬 あ、そうスカ。

野中 ごめんし。

柳瀬 いや、ハイ。で、何。俺になんか、聞いてくるんすわ。学校楽しいかとか、友達とうまくやっつとるのかって言って。

野中 おお。

柳瀬 そんなで、俺適当に答えるじゃんね。楽しいよとか。

野中 ハイ。

柳瀬 したら、ばあちゃんうんうん言って聞いたったんだけど、なんか、急に俺の手握ってきて。

野中 ほお。

柳瀬 そんなでなんか、ごめんなって言って。

野中 うん。

柳瀬 ごめんな、ごめんけど、ごめんけどばあちゃんじいちゃんが死んだところで死にたい。

野中 ……。

柳瀬 んだって。

野中 ハイ。  
柳瀬 ハイ。  
野中 ハイ。  
柳瀬 ですって。  
野中 ハイ。  
柳瀬 ……。  
野中 ズルいな。  
柳瀬 ……。  
野中 ズルシだな。  
柳瀬 (思わず笑って) ズルシとかお前。  
野中 気づいた。古典めっちゃ便利。  
柳瀬 (笑って) 富センか。  
野中 富センめっちゃ便利。  
柳瀬 (笑う)  
野中 え、てかお前そんなでもないぞ。  
柳瀬 は？  
野中 なんか方言うつつたとか言っ、そんなうつつとらんからな。  
柳瀬 ……え、マジスか。  
野中 マジスわ。  
柳瀬 ウソだ。  
野中 下手スわ。  
柳瀬 俺うまいと思っと思ったんだけど。  
野中 全然スわ。  
柳瀬 普通にうまいと思っと思ったんだけど。  
野中 なめんな。  
柳瀬 (笑って) マジか。  
野中 地元なめんな。  
柳瀬 スンマセン。  
野中 おお。  
柳瀬 おとなしく戻ります。  
野中 そうしてください。  
柳瀬 ハイ。  
野中 ハイ。  
柳瀬 え、お前は？  
野中 何。

柳瀬 ピアノ。  
野中 が何。  
柳瀬 いいの？  
野中 ……。  
柳瀬 自分で決めんで。

ピアノの伴奏が頭から始まる。  
野中、伴奏に合わせて小さく鼻歌を歌い出す。

柳瀬 え、ウソ、無視スか。

野中、思わず笑うが、鼻歌を歌い続ける。

柳瀬 おーいー、無視とかやめろし。

野中、ソプラノパートを小声で歌い始める。

柳瀬 うーわ歌うし。

野中 (笑いながら歌う)

柳瀬 え、何、野中さん歌うんスか。

野中 (歌う)

柳瀬 弾かないんスか。

野中 (歌う)

柳瀬 え、てか俺思ったんだけど。

野中 (歌う)

柳瀬 卒業式とか別に誰弾いてもよくない？

野中 (歌う)

柳瀬 別に藤田じゃなくてよくない？

野中 (歌う)

柳瀬 てかうまいやつが弾けばよくない？

野中 (歌う)

柳瀬 からさ、野中でよくない？

野中 (歌う)

柳瀬 俺野中でいいと思う。

野中 (歌う)

柳瀬 俺野中が弾いた方がいいと思う。

野中 (歌う)

柳瀬 え、てかさ。

野中 (歌う)

柳瀬 弾けばよくない？

野中、歌っている。

柳瀬、男声パートを歌い始める。

野中、とっさに柳瀬を見るが、すぐに正面を向き、歌う。

ふたり、合唱する。

だんだん雨音が大きくなる。

呼応するように、ピアノの音が大きくなり、ふたりの声も大きくなる。

次第に、雨粒の一つずつが音階のように、伴奏の音と重なる。

それは子供達の声のように、合唱のように、ふたりへ降り注ぐ。

ふたりの声がかき消されていく。

ふたり、それでも歌っている。

笑っている。

合唱が終わり、静寂。

ふたりを包むように降り積もるかすかな音。

ふたり、気づいて空を見上げる。

野中 ……うわ。

柳瀬 おい。

野中 マジか。

柳瀬 言うべきにもあらずじゃん。

野中 シャレにならん。

柳瀬 ありえんわ。

野中 ワロシだろコレは。

柳瀬 コレはワロシだわ。

野中 ワロシだろコレは！

柳瀬、とっさに野中を見るが、その表情に思わず笑う。

野中、柳瀬につられて笑う。

野中 (笑って) ワロシだぞ！  
柳瀬 (笑って) マジワロシだぞ！  
野中 (笑って) 風邪ひかす気か！  
柳瀬 (笑って) 風邪とかマジありえん！  
野中 (笑って) 受験生ぞ！  
柳瀬 (笑って) 受験生ぞ！  
野中 (笑って) 寒いぞ！  
柳瀬 (笑って) 寒いんだよ！  
野中 (笑って) 寒いかふざけんな！  
柳瀬 (笑って) ふざけんなよ！

ふたり、大きく息を吸い。

野中・柳瀬 さあーみいー！

終わり